

家の お手入れ



網戸の修理

穴があいた場合

すぐに張り替えられないときの応急手当の方法です。見た目はあまりよくないので、早めの張り替えをおすすめします。

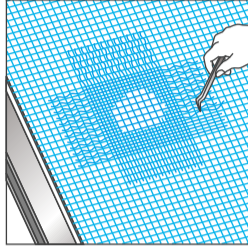
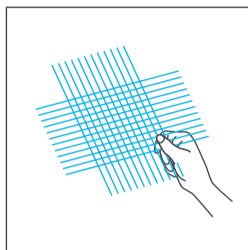
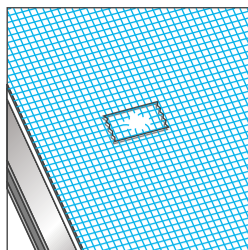
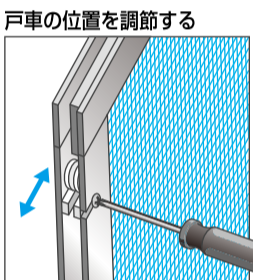
●小さな穴

穴のあいた箇所の網の汚れを落としてから、同じサイズに切ったビニール補修用テープか塩ビシート補修テープを両面から貼ります。また、網目模様の入っている網戸補修用テープも市販されています。

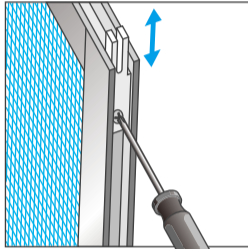


網戸がガタつく場合

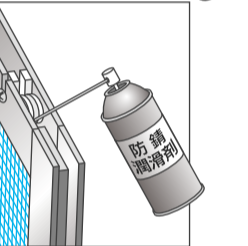
網戸がはずれやすくなったり、上にすき間ができたとき、網戸の上部にプラスチックのはずれ止めがついているタイプならそのネジを緩めてはずれ止めの位置を調節してから締め直すと改善されます。戸車がついているタイプの場合は、そのネジを緩めて戸車の位置を調節してから締め直してください。戸車の動きが悪い場合は、防錆潤滑剤などにノズルをつけ戸車の部分に吹き付けるとスムーズに動く場合があります。



上部のはずれ止めを調節する



戸車の位置を調節する



戸車に防錆潤滑剤をスプレーする

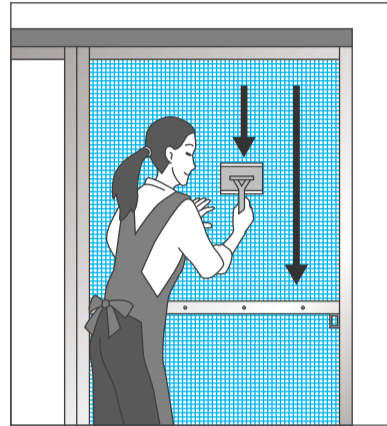


網戸の 張り替え

One Point Advice

網戸をはずさずに洗う方法

まず、掃除機でホコリを吸い取ります。このとき、網戸の片面に新聞紙などを貼って掃除機をかけると効率的。その後、住宅用アルカリ性洗剤を少し入れた液をコテバケにつけて容器の縁でよくしごいてから網に当て、一方方向に動かして全体に塗ります。2～3分おいてから絞った雑巾を軽く当てながら、洗剤分を取るように拭けば終了。スプレー式の住宅用洗剤ならコテバケのモケット部分に直接スプレーして使ってください。また、網戸専用のクリーナーも各種発売されています。そのほとんどは泡状に吹き付けて使うタイプです。



網戸（押さえゴム式）の張り替え

用意するもの

□網
網の幅は91cmが主流だが、140cm前後のものもあるので、店にない場合は取り寄せてもらうとよい。長さは10cm単位で切り売りもしているし、2m巻きのものもある。網戸1枚につき、長さ20cmくらいの余裕をみて購入すること。色はブルー、グレー、ブラックなどがある。ほとんどが、ポリプロピレン製だが、一部には塩化ビニール製のもの、ペットの爪や火にも強いガラスファイバー製のものもある。

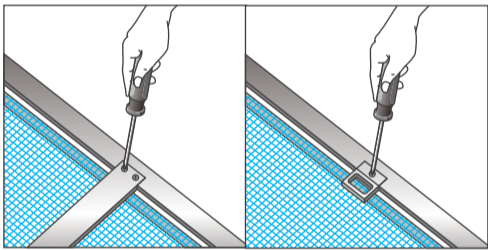
□押さえゴム

太さが4種類あるので、現在使っている押さえゴムをこじ起こし、3～4cm切り取ったものを持って、一番近い太さのものを購入する。色はグレーとブロンズとがあるので、サッシの色に合わせて選ぶとよい。

- キリ、または千枚通し
- 網戸用ローラー
- カッター
- ドライバー

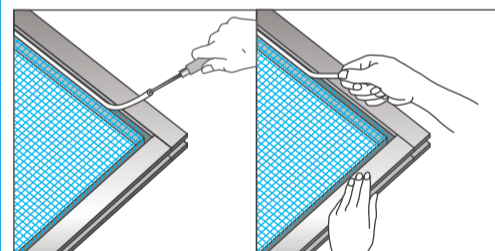
1 棧力バーや引き手をはずす

掃き出し窓などに使われている中棧があるタイプは、中棧のカバーの両端にあるネジを緩めてはずす。引き手がついているものも、ネジを緩めればはずれる。



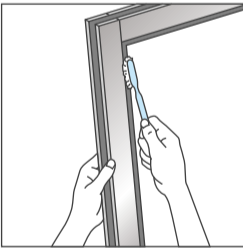
2 押さえゴムをはずす

押さえゴムの端をキリや千枚通しなどでこじ起こし、ゴムを引っ張ってははずし、網をとる。



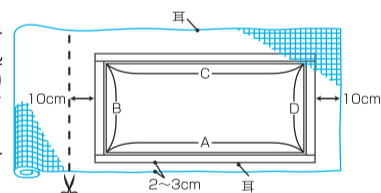
3 溝のホコリをとる

溝にはホコリやゴミがたまりがち。この際に歯ブラシなどできれいに掃除しておくとうよい。



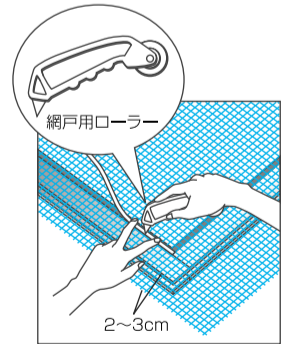
4 網をのせる

巻きぐせのついている面を下にして、図のようにD辺の枠より10cm出し、A辺の枠より2～3cm耳が出るようにして平行にのせる。押さえゴムは長辺と短辺を足した長さのものを2本作る。



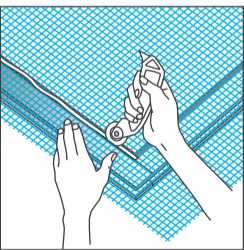
5 長辺Aの端をはめ込む

まず、A辺にゴムをはめ込む。ゴムをはめ込み始めるときは、人差し指と中指を開いてゴムを押さえ、2本の指の間のゴムを網戸用ローラーのヘラの部分で押し込むと楽に入る。



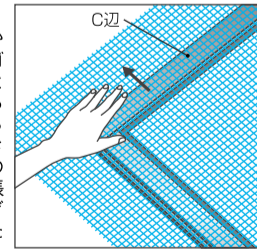
6 長辺Aをはめ込む

左手で網を軽く押さえ、網戸用ローラーのローラーを転がしながらゴムをはめ込んでいく。このとき、左手は常に同じ強さで押さえるようにし、押さえた部分だけを入れるのがコツ。また、右利きの人は右回り、左利きの人は左回りにローラーを転がすと作業が楽にできる。網が斜めになったり、波打った場合は、ゴムをはずし、網を2ど外にずらしてはめ直すようにする。



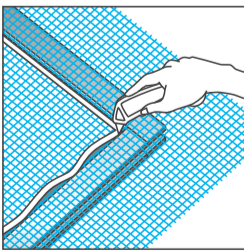
7 長辺Cをはめ込む

短辺と網目が平行なのを確かめ、Aと同じようにC辺にゴムをはめ込んでいく。このとき、Aのゴムを入れたところに網の膨らみが少しあるくらいになるように、左手で引きかげんを調整しながら行うのがコツ。ここでピンと網が張ってしまうようなら張り過ぎになるので、少し余裕を持たせるようにする。



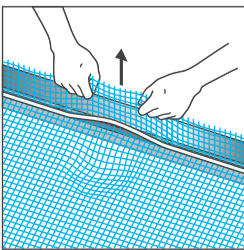
8 短辺D、Bをはめ込む

長辺Cをはめ終わったら、ローラーのヘラでコーナー部分にゴムを押し込んで短辺Dにゴムをはめ込み、短辺Bも同様にはめ込む。短辺にゴムをはめ込んでいくときも、左手で網を軽く押さえながら行う。このとき、網の張り方が緩めなら少し引きかげんに、それであれば、軽く手を当てる程度にする。



9 網の張り具合を見て調整する

網の張り方を透かすようにして見てチェックする。たるんだり、ふくれている場合は、その部分の網をそっと引き上げて、その部分より少し広くゴムをはずし、網を引きながら再度ゴムをはめ込む。このとき、ローラーを転がすとゴムが伸びるので、ローラーで上から押さえるようにして入れていく。



10 余分なゴムと網を切り取る

押さえゴムの余分をハサミで切りローラーのヘラで溝におさめる。網の余分はカッターの刃を枠に向け、進行方向に向かってねかせ、ゴムに沿って切り取る。



パッチ式の網戸の場合

押さえゴムでなくプラスチックの棒状の網押さえで押さえられているパッチ式の場合も、マイナスドライバーなどで網押さえをはずし、長辺A、長辺C、短辺D、短辺Bの順に固定すればよい。網押さえを溝に入れるとき、端をカナヅチか木ヅチでたたき込んでから、柄をねかせて押さえ込んで入れるのが押さえゴムと異なる点。なお、網押さえが割れてしまったときは網戸を購入した店で取り寄せてもらえる場合もあるが、サイズの合う押さえゴムで代用することも可能。

